

(一社) 日本原子力学会 標準委員会 システム安全専門部会
第 54 回水化学管理分科会 (P11SC) 議事録

1. 日時 2023 年 8 月 31 日 (木) 13:00~15:00

2. 場所 Webex による Web 会議

3. 出席者 (順不同、敬称略)

(出席委員) 河村 (主査)、室屋 (副主査)、平 (幹事)、中野、梅原、宇井、大橋、岡田、
篠原、莊田、杉野、高木、長瀬、端、吉林^記 (15 名)

(常時参加者) 前田、長嶺、相澤、宮重、後沢、畠、串本、三島、宮永、市橋、遠藤

(11 名)

4. 配付資料

【P11SC54-0】 第 54 回水化学管理分科会議事次第

【P11SC54-1】 第 53 回水化学管理分科会議事録(案)

【P11SC54-2】 人事について

【P11SC54-3-1】 趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - コバルト 60 イオン

【P11SC54-3-2】 趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - よう素 131

【P11SC54-3-3】 趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - 金属不純物

【P11SC54-3-4】 趣意書 沸騰水型原子炉の水化学管理指針

【P11SC54-3-5】 【専門部会コメント反映】 趣意書 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針

【P11SC54-3-6】 新旧比較表 (PWR 趣意書)

【P11SC54-4】 SC92-4-05-03_ほう素_新旧比較表 (抜粋)

【P11SC54-5-1】 倫理教育受講状況フォロー状況

【P11SC54-5-2】 倫理教育に係る委員の主なご意見

【P11SC54-6-1】 標準委員会規定類の合理化検討 (気付き事項)

【P11SC54-6-2】 2023-T2-8_標準委員会規定類の合理化検討について

【P11SC54-6-3】 標準委員会規定類の合理化検討 (気付き事項) 回答案

【P11SC54-7-1】 至近の制改定標準の用語辞典への反映検討依頼

【P11SC54-7-2】 2023-2-2-2_今年度の用語辞典の更新方法

【P11SC54-8-1】 水化学関連の標準類の改定計画

【P11SC54-8-2】 BWR 水化学管理指針 改定検討項目整理表

【P11SC54-8-3】 PWR 水化学管理指針 改定検討項目整理表

5. 議事

(1) 本分科会の成立について

平幹事より、委員総数15名に対し出席委員は15名であり、開催定足数(10名)を満たしていることが確認された。

(2) 人事について

平幹事より、【P11SC54-2】「人事について」について説明があった。その後、承認事項であるBWR水化学管理指針作業会について、渡部氏(東北電力)、吉林氏(中部電力)の新委員選任について、いずれも委員により承認された。

(3) 第53回水化学管理分科会議事録の確認

平幹事より、【P11SC54-1】「第53回水化学管理分科会議事録案」について確認依頼があり、高木委員よりコメントが反映されていない版が示されているので、コメント反映版に差し換えた後、「案」を削除して正式版とすることとした。

(4) PWR / BWR 水化学管理指針および BWR 水化学分析標準の改定趣意書と今後の改定方針について

1) 宮重常時参加者より、【P11SC54-3-1】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - コバルト60イオン」、【P11SC54-3-2】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - よう素131」、【P11SC54-3-3】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - 金属不純物」および【P11SC54-3-4】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学管理指針」の4件について、中野委員より、【P11SC54-3-5】「【専門部会コメント反映】趣意書 加圧水型原子炉一次系の水化学管理指針」について、前回のシステム安全専門部会のコメント2件を反映した説明があった。

システム安全専門部会のコメントとは、学会標準の制定時期を記載すること、今後のスケジュールを発刊ではなく、改定までとすること。

主な意見・質疑応答は以下のとおり。

- ・各趣意書の「今後のスケジュール案」に記載がある「改定の承認審議・改訂」について、用語を使い分けているのか。
 - －学会規則によると改定が正しい。
 - －改定に用語を修正する。
- ・各趣意書の「今後のスケジュール案」に記載がある「改定の承認審議・改定」の記載の意味を確認したい。
 - －改定と、その前段階の改定の承認審議を記載している。

- ・趣意書【P11SC54-3-1】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - コバルト 60 イオン」、【P11SC54-3-2】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - よう素 131」、【P11SC54-3-3】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学分析方法 - 金属不純物」および【P11SC54-3-4】「趣意書 沸騰水型原子炉の水化学管理指針」の4件について、提出時には全て黒文字表記すること。

－資料で赤文字表記したのは、変更箇所の見やすさを考慮したものである。提出時には黒文字表記する。

- ・趣意書のクレジットについて確認したい。
－システム安全専門部会 水化学管理分科会とする。

- ・資料は、9月5日までに標準委員会事務局に提出することになっているため、平幹事へ提出すること。

本資料一式について、9月13日に開催される標準委員会の審議にかけることで承認された。

- 2) 高木委員より、今後の改定予定、具体的な改定方針の確認ができるとよいとの提案説明があった。

これを受け、河村主査から、8月に開催された水化学部会サマーセミナーにおけるPWR/BWR水化学管理指針の改定に関する取り組み状況を説明した【P11SC54-8-1】「水化学関連の標準類の改定計画」を基に説明があった。

また、中野委員から、河村主査の説明にあった項目で検討を進めていくこと、宮重常時参加者から、河村主査の説明に問題ないとの補足があった。

高木委員より、PWR/BWR水化学管理指針作業会(以下、「作業会」という)の【P11SC54-8-2】「BWR水化学管理指針改定検討項目整理表」を基に、現在、作業会において、指針の検討課題を整理表にまとめたうえで検討を進めていることの紹介があり、これらに則って、①水化学管理分科会にても現状の改定検討項目(案)を吟味すること、②河村主査ご提案の検討課題との対応を確認すること、③新規知見(NPC2023等)にも目配りして整理表の過不足を検討すること、が望ましいとの提案があった。

これについて、中野委員から、水化学管理分科会委員に配布することに問題ないとの補足があり、宮重常時参加者から、整理表のうち各社の割り振りについては、調整中であることから今後変更することがあるとの補足があった。

3) 河村主査から、水化学管理分科会において議論になるようことがあれば、水化学分科会開催前に予習できる様に情報・資料を委員へ出していただけるといいとの意見があった。

これについて、宮重常時参加者と中野委員から、【P11SC54-8-2】「BWR 水化学管理指針 改定検討項目整理表」、【P11SC54-8-3】「PWR 水化学管理指針 改定検討項目整理表」を用いて進捗を示していけたらと思っていると応えた。

(5) 分析標準（ほう素）の誤記について

河村主査から、これまで審議・制定まで進めた分析標準(ほう素)の誤記の修正について、今後の進め方や取り扱いについて、意見を聞きたいとの説明があった。

中野委員から、【P11SC54-4】「SC92-4-05-03_ほう素_新旧比較表 (抜粋)」を基に、誤記の内容について説明があった。今後、作業会において対応を検討したうえで、水化学管理分科会で審議いただく予定であるとの状況説明があった。現時点では、単純な誤記と考えている。

また、単純な誤記の場合と編集上(Editorial)の場合とでは、今後の手続きが異なることの説明があった。

今後、作業会の検討、水化学管理分科会の審議、システム安全専門会の審議、標準委員会(戦略タスク)を経て、発刊に進めたいと考えている。

(6) 倫理教育の実施状況の共有

平幹事より、【P11SC54-5-1】「倫理教育受講状況フォロー状況」、【P11SC54-5-2】「倫理教育に係る委員の主なご意見」を基に、受講状況の説明があった。

主な意見・質疑応答は以下のとおり。

- ・【P11SC54-5-2】「倫理教育に係る委員の主なご意見」は、システム安全専門部会にそのまま上げるのか扱いを確認したい。
- －【P11SC54-5-2】「倫理教育に係る委員の主なご意見」は、水化学管理分科会内の扱い。受講者の実績のみ報告する。

(7) 標準委員会規定類の合理化検討の依頼

平幹事より、【P11SC54-6-1】「標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）」を基に、依頼内容の説明があった。

中野委員より、【P11SC54-6-3】「標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）回答案」を基に、意見の内容について説明があった。

主な意見・質疑応答は以下のとおり。

- ・分析標準(ほう素)の誤記対応の手続きに関しては、腰を落ち着けて現行の手続きに従うのがよいと思う。
- ・分析標準(ほう素)の誤記対応の手続きに関して事務局に問い合わせた際、標準委員会審議細則に記載されている手続きを進めるしかルールはないと回答をいただいている。

- ・【P11SC54-6-2】「2023-T2-8_標準委員会規定類の合理化検討について」の趣旨は、標準委員会の規定類全体の見直しを手伝ってくださいという要望の印象を受けた。実際にはどのようなことを求めているのか。
ー水化学管理分科会にアクションを求めているものではない。標準委員会規定類の合理化の検討が必要という趣旨のものである。
- ・【P11SC54-6-3】「標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）回答案」の意見内容はよいと思う、率直にお伝えした方がよいと思う。

- ・【P11SC54-6-3】「標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）回答案」の記載の仕方について確認したい。現行の様な標準委員会審議細則を引用する方法と、具体的な事例(分析標準(ほう素)の誤記)を挙げて、手続きに時間を要していることを伝える内容にしたらいいか。
ー今回の事例(分析標準(ほう素)の誤記)の場合、現行の内容でよいと思う。

今後、平幹事から、【P11SC54-6-3】「標準委員会規定類の合理化検討（気付き事項）回答案」とその他意見があれば合わせて、9月15日までに事務局へ提出する。

(8) 用語辞典の反映検討の依頼

平幹事より、【P11SC54-7-1】「至近の制改定標準の用語辞典への反映検討依頼」を基に、依頼内容の説明があった。

今後、11月のシステム安全専門部会に報告することになっていることから、作業会にて確認して水化学管理分科会へ報告する。

主な意見・質疑応答は以下のとおり。

- ・用語辞典への反映は、分析標準改定の際、いつも行っていたのか。水化学管理分科会で議論したことはないと思う。
ー今までは、原子力安全推進協会の北島委員が引き受けて対応していた。標準分析改定の機会を捉えて、用語辞典への反映を行っていた。学会標準策定支援業務が原子力安全推進協会から電気事業連合会へ移ったことから、水化学管理分科会へ依頼があっ

たと思う。

(9) その他

1) 今後のスケジュールについて

9月13日 標準委員会

9月下旬 作業会

10月下旬 水化学管理分科会

候補日:10月23日(月)13:30~17:00

予備日:10月24日(火)

11月14日 システム安全専門部会

中間報告

2) PWR と BWR の分析標準のタイトルについて

河村主査から、PWR と BWR の分析標準のタイトルが少し違っている点(PWR:化学分析方法、BWR:水化学分析方法)について、どうするか、統一しなくてよいか意見があった。

これについて、宮重常時参加者から作業会で議論すると応えた。

主な意見・質疑応答は以下のとおり。

- BWR の分析標準の大きな変更点はあるか。
ー今回の改定では多くない。改定ポイントのほとんどは、水化学管理指針に関する項目である。
- 水化学管理指針の本文に亜鉛、水素注入を取り入れることを議論すると検討する時間が必要となると思う。
- 検討に時間を要する場合は、スケジュールありきではなく、必要であれば必要な時間をかけることは大事と思う。

以 上